

ブックオフコーポレーション株式会社

2009年3月期 第2四半期決算概況

2008年11月12日

ブックオフコーポレーション株式会社

(東証一部:3313)

【連結】2009年3月期 第2四半期累計期間連結業績の概況

- ・ 期間損益は計画を若干下回って推移
- ・ 営業利益：計画比 27.5%、経常利益：同 24.1%
 - 期初に中古劇場4拠点を集中出店。出店初期費用が計画を上回る
 - 前期下期集中出店したリユース事業店舗の利益化遅れ
- ・ 純利益は 9百万円と計画を上回って着地（通期は黒字（950百万円）の計画）
- ・ 前期との比較では、増収（前期比+8.2%）なるも上期における前倒しの新規出店（中古劇場及び都市型大型店を含む）と特殊要因の剥落により経常利益は同 60.7%

【単体】2009年3月期 第2四半期累計期間単独業績の概況

- ・ ブックオフ事業好調 期間損益は計画を上回って推移
- ・ 営業利益：計画比+18.4%、経常利益：同+6.0%、純利益：同+105.0%
 - 既存店客数が当期8月に1年4ヶ月ぶりに前年超え（3ヶ月継続中）
 - 売上額前年比 既存店102.9%。全店110.2%
 - ゲーム関連売上の売上構成比増等に伴う粗利率低下傾向は、販売管理費のコントロールでカバー
- ・ 秋葉原などの都市型大型新店も含め、今期新店は概ね順調な立ち上がり

通期見通し

- ・ 連結・単体共に通期見通しは据え置き。連結の進捗遅れを取り返す
 - 客数の前期比超えが仕入・販売ともに継続。繁忙期への備え順調（ブックオフ事業のみならずリユース事業でも客数の回復傾向が継続中）
 - 下期の出店予定は計画比4店舗減。既存店への集中が可能
 - 新しく連結に入った子会社の収益貢献も見込む

業績前年同期比・計画比の表を最後に記載しております。

ブックオフ事業、計画を上回る

主力であるブックオフ事業が、利益計画を上回り、単体業績も経常利益計画比6.0%増。

昨年同期では、ポイントカード廃止による売上割戻引当金の戻入519百万円が前年の特殊要因としてありました。その特殊要因を除けば、前年同月比 33.0%となります。

また今期は、上期に、秋葉原駅前店、渋谷センター街店など、都市型大型店を続けて出店しました。

リユース複合館「中古劇場」も4館出店済みで店舗数では22店舗出店（今期出店計画中75.6%出店）。初月の経費マイナス影響を通年で軽減するように期初に集中して出店いたしました。第3四半期以降、出店にかかる初月費用は大きく削減されます。

各セグメント別実績

【ブックオフ事業】

- 当第2四半期会計期間（7月～9月）のグループ直営店の既存店売上は前年同期比105.2%。第2四半期累計期間（4月～9月）では102.9%でした。
- 既存店客数が、8月に1年4ヶ月ぶりに前年同月比超え、以降連続で客数前年比を超えております。現在も仕入好調を背景にした商品の充実から既存店売上、客数ともに好調に伸ばしております。
- オンライン事業は、計画どおり順調に売上を伸ばし、当初計画に対し利益のマイナス幅は減少しました。これらの現状により期初予定どおり第3四半期単月黒字化を見込みます。

《下期への課題》

- ゲーム売上向上により、売上、粗利益ともに上昇しましたが、粗利率の低い商材のミックスにより、粗利率では連結では1.9%p低下しました。現在のゲーム部門粗利率41%を43%まで高めます。客数増の傾向を維持しながら、ピンポイントでの粗利率適正化策を進め、下期対上期比粗利率（店舗ベース）1.0%ptの向上を見込みます。

【リユース業態（キッズ・婦人服事業及びその他リユース事業）】

- 当第2四半期累計期間に、中古劇場4館、リユース業態等12店舗出店しました。
- 上期の集中出店による初期費用の集中、前年下期に出店した中古劇場の認知向上に時間がかかったことなどから、利益計画を下回りましたが、最繁忙期の10月から1月にむけて、買取り客数・点数共に好調です。10月の月次実績において売上高既存店前年比112.1%を超え、「稼ぐ秋冬」への準備は順調です。

【TSUTAYA事業】

- 当第2四半期累計期間に、新刊書店、新品CD、DVD、ゲームソフト等を扱う、マルチパッケージストアを譲受出店しました。また、9月30日付で㈱ワイシーシーを譲受したことにより、TSUTAYA店舗22店舗（うち18店舗が新刊書店を運営）を加え、当社グループの運営するTSUTAYAは33店舗となりました。今後は店舗増によるスケールメリットを活かした展開をし、また新刊書店運営のノウハウを学ぶなど、人的交流も含め収益向上を図って参ります。

第3四半期以降に向けた新たな施策

- ・ 企業ミッション「捨てない人のブックオフ」を公表。社内への浸透、客層拡大を狙うマーケティング戦略を並行して進める。新TVCMが好評。
- ・ 新ブランド『B コレ!』を下期以降100店舗以上に展開。
 - ブックオフ店内の特設新古本（自由価格本）コーナー。当社の初の本格MD。
 - 出版業界の地殻変動の中で、新古本の流通量が拡大。900店舗の当社チェーンがその受け皿となることを狙う。新古本を日本一丁寧に売るチェーンを目指す。
- ・ 新規連結子会社の㈱ワイシーシー（23店舗）も利益貢献。

通期見通しについて

【通期の見通しについて】

第2四半期に利益が計画を下回ったものの、以下3つの現在の状況を鑑み、通期営業利益・経常利益計画は期初計画から変更せず据え置きといたします。

仕入客数、売上客数ともに好調のまま、リユース事業の収益の山場である第3四半期、ブックオフ事業の山場である第4四半期を迎えること。

上期に出店を集中させたことにより下期の出店は7店舗と少ないこと。

新しく連結子会社となった㈱ワイシーの業績寄与も見込まれること。

第2四半期累計期間 実績

単位:百万円(単位未満四捨五入)

連結業績	2009/3月期 第2四半期累計実績		前年同期 実績	第2四半期 計画
		前年同期比		
売上高	26,515	+8.2%	24,502	27,000
営業利益	399	66.6%	1,192	550
経常利益	493	60.7%	1,256	650
当期純利益	-9	+66.7%	420	-30

単体業績	2009/3月期 第2四半期累計実績		前年同期 実績	第2四半期 計画
		前年同期比		
売上高	19,677	+7.7%	18,273	20,400
営業利益	770	45.8%	1,420	650
経常利益	795	45.3%	1,455	750
当期純利益	205	70.9%	704	100